

令和3年京都市はたちを祝う記念式典
山本恵一京都市会議長、青野仁志京都市会副議長からのお祝いメッセージ

二十歳という新たな門出をお迎えになられました皆様、誠におめでとうございます。京都市会議長の山本恵一です。

この度は誠におめでとうございます。京都市会副議長の青野仁志です。

この度はビデオメッセージという形となりますが、心を込めてお祝いを申し上げます。

祝辞。京都市、さらには、日本の将来を担われる皆様が、晴れて二十歳の門出をお迎えになられましたことを心からお慶び申し上げ、京都市会を代表して、一言、御挨拶を申し上げます。

皆様方はこれからの新しい社会を支え、創り上げていくうえで、大きな期待が寄せられる、かけがえのない存在であります。そこで、新たな門出をお迎えになられました皆様へ、私からお伝えしたいことが三つございます。

まず、一つ目として、周りの方々への感謝を忘れず、何事にも果敢にチャレンジしていただきたいということでもあります。私ごとではありますが、私は一農家の息子として生まれ、14歳の時に父親を亡くし、そこからは母親の深い愛情を受けて育ちました。そして、代々受け継ぐ畑で京野菜を育てる傍ら、地元の消防団や農協の役員を務める中で、50歳を超えてから、人の役に立ちたいと一念発起し、御支援をいただき、市会議員となり、現在、京都市会議長を務めさせていただいております。

これまで様々な苦労がありましたが、両親に生んでもらったこと、早くに父親を亡くしても、母親、そして周りの方々からの支えにより、ここまで育てていただいたこと、農家であった時も議員となった今も、感謝の気持ちを忘れず、「謙虚にして驕らず」の精神で日々努めているところでもあります。若さ溢れる皆様には、無限の可能性が広がっています。時には失敗することもあるでしょう。たとえ何度失敗しても、諦めずに歩みを重ねることが大きな成長へと繋がるはずです。

現在、新型コロナウイルスの影響により、社会は大きな転換期を迎えておりますが、どのような環境においても感謝の気持ちを忘れず、いつまでも夢や目標に向かって努力を重ね、実りある未来を自ら創っていただきたいと思っております。

次に、二つ目として、京都で成人の日を迎えた皆様には、いつまでも歴史ある京都のまちを誇りに思い、愛し続けていただきたいと思っております。将来、様々な場所で活躍される皆様方にとって、古き良きものを引き継いでいただくとともに、若い感性で、京都の魅力を発見・発信し、これからの京都のまちの活性化に繋げていただきますよう御期待申し上げます。

三つ目に、京都市会や京都市の取組、ひいては政治全般への関心を深め、主権者としての自覚を一層強く持っていただきたいということでもあります。若い世代の皆様方の視点は、欠かすことのできないものでございます。130年以上の歴史を重ねてまいりました京都市会では、市会だよりや市会ホームページ、フェイスブックなどにより、様々な取組を発信しております。是非、京都市会や政治について知るきっかけとしていただき、積極的に市政に参画していただければ幸いです。

結びに、皆様方お一人お一人の人生が、希望に満ちた豊かなものとなりますよう、心からお祈り申し上げ、京都市会を代表してのお祝いの言葉とさせていただきます。